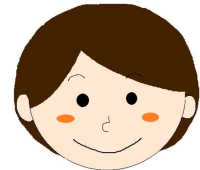


特集！！ハルちゃんが行く！！

～津野町森林組合のCLT工法を用いた新事務所～



ハルちゃん

2階建て
延床面積：235.28m ²
CLT使用量：98.40m ³
(内訳) 壁：44.61m ³
床：28.68m ³
屋根：24.70m ³
他：0.41m ³

高知県はCLT建築の先進県！

津野町船戸に、CLT工法を用いた津野町森林組合の新事務所が完成しました。CLTはCross Laminated Timberの略で、ラミナ(板)を並べた後、繊維方向が直交するように貼り合わせた木質系材料です。高知県は全国に先駆けてCLT工法を用いた建物が多く建設されています。森林組合の事務所としては、県内では馬路村森林組合に次ぐ2例目となります。

短い工期で組み立てられる事がCLT工法の特徴の一つで、今回の建物は、約100m³を使用したCLTパネルの組み立てはわずか4日ほどで完了しました。建物全体の工期は約4ヶ月です。

CLTパネルにより壁・床・屋根が構成され、室内は全体が木材に囲まれた空間であるため、遮音性、遮熱性に優れています。

地元産の杉・桧を使ったCLTパネル

この建物の1階部分には桧のCLTパネルを、2階部分には杉のCLTパネルを用いています。右の写真は軒を見上げるように撮影したのですが、白っぽい桧と、赤みがかった杉、それぞれの特徴が一目で分かります。使用された木材のほとんどが津野町産で、地元材が多く利用されています。右の写真の中央には、縦にCLTパネルの構造(5層接着)が見えています。

2階部分は、多目的室となっており、会議室として利用したり、地域の子供たちに森林・林業に親しんでもらうための森林学習を行う場として活用する予定だそうです。



構造見学会の様子(平成31年1月)